

第2回 生活部会 報告書

令5年7月18日

開催日時	令和5年7月12日(水)14:00～	場所	千曲市ふれあい福祉センター 会議室5
部会員	稲荷山太陽の園(酒井光男)/ともいきライフ月影(高橋幹智)/いなりやま相談支援事業所(松澤美和子) /いなりやま福祉会グループホーム(青木恵美)/まごころ千曲相談支援室カラフル(松澤美恵子・西條真紀) /あした葉(前田きみこ)/地域生活支援センターCoCoちくま(内堀祐輔)/サンライズ相談室(大久保千鶴) /千曲市福祉課(中島美沙子・橋立慎太郎)/千曲・坂城障がい者(児)基幹相談支援センター(北澤裕貴・本多将之・中澤範子)/坂城町福祉健康課(高尾幸矢)		
		出席	15 名

(1) 報告事項 ほか

(2) 協議事項 および 内容

(1) 魅力発信動画について

障害福祉現場の魅力を発信し新たな人材を発掘するために、魅力発信動画の撮影を行う予定。稲荷山太陽の園、いなりやま福祉会グループホーム、いなりやま福祉会地活、いなりやま福祉会はなたば、ボスケット、いなりやま相談支援事業所が撮影参加予定。

(2) 研修会について

令和5年12月13日(水)開催予定。福祉現場で活かせるような、知っておくべき精神疾患治療薬の知識を講演してもらう予定。Nimo包括検討委員会やこころ部会とも合同で開催予定。

(3) 地域移行について

① 地域移行に関するアンケートについて

千曲市と坂城町において支給決定しており、入所施設を利用している利用者の相談支援専門員に対してアンケートを送付予定。入所施設から地域へ出たい等希望の有無を確認し、地域資源の指標とするためアンケートをとる予定。

② 「地域移行コーディネーターの活動報告」

長野市地域移行専門員の伊藤清孝さん(絆の会相談室)より講義があった。担当している地域での2023年の地域移行支援状況として、9割以上が精神科病院からの相談であった。病院のソーシャルワーカーからの相談が多い。平均年齢は約47.0歳、平均入院期間は約3年11か月となっている。最長入院期間は10年2か月、最短入院期間は4か月となっている。地域移行利用し、退院後はグループホームへ2名入居。宿泊型自立訓練施設へ1名入居となった。現在、地域移行利用中の方は3名いる。実際のケースでは訪問看護との連携も必要。地域移行支援を利用し、様々なグループホームで体験をする事でグループホーム入居につながる。

③ グループワーク「地域移行について」

講師による講義を踏まえAグループ、Bグループに分かれ検討を行った。各グループより、グループホームが24時間対応できるところがあればいいことや、訪問看護が24時間体制のところがあれば医療とのつながりが常に持てるので安心できると意見が挙げられた。アパート保証人の援助や、外泊の際に移動支援が必要。ピアサポーターを育成し、地域で支えられるようなインフォーマルな支援をする事が必要。重度訪問介護の支援体制がある事業所を作る事。介護保険利用中の高齢者施設でも精神疾患を持った方が安心して生活できるようにすることが必要だと意見が挙げられた。

(3) 結果

地域連絡会で検討したい課題 []

(4) その他 (お知らせ・次回開催日など)

次回は9月6日(水)10時より千曲市ふれあいセンターにて行う。
各部会へのアンケートをとる予定。各部会執行部で部会員へアンケートをとるか検討する。